

令和2年度 JA佐渡 おけさ柿病害虫防除暦

【表示されている農薬の使用基準は令和元年12月4日現在の登録内容です】

回数	散布時期	主な対象病害虫	ボルドー体系					無ボルドー体系					備考欄（使用上の注意など）	
			薬剤名又は展着剤	散布濃度	収穫前使用時期	使用回数	水100Lあたり薬量	薬剤名又は展着剤	散布濃度	収穫前使用時期	使用回数	水100Lあたり薬量		
臨時	3月末まで (休眠期)	カイガラムシ類	ハーベストオイル	50倍	発芽前	—	2回	250 (200)	ハーベストオイル	50倍	発芽前	—	2回	発生期では必ず散布する。粗皮けずり後に散布すると効果が低い。 ・落葉は3月中旬までに集め、埋める。 ・薬剤散布は無風の暖かい日を選び、主枝、垂主枝の分岐部分にたっぷりかける。
臨時	発芽前～ 発芽期	コナカイガラムシ類	スタークル顆粒水溶剤 (樹幹塗布)	2倍	発芽前～ 発芽期	1	薬量 1g 水 1ml	1樹 20～40g/樹	スタークル顆粒水溶剤 (樹幹塗布)	2倍	発芽前～ 発芽期	1	薬量 1g 水 1ml	前年フジコナカイガラムシが多発した樹やその周辺樹に対して塗布する。(直前に塗布する箇所の粗皮を削り取る。) ※発芽期の塗布が効果的なので、生育を診て実施すること。 ※使用方法についてはJAの指導を受けること。
臨時	5月上旬 (展葉初期)	ワカコナカイガラムシ若齢幼虫 ハマキムシ類 アザミウマ類	ダイアジノン水和剤34	1,000倍	45日	4	100g	350 (250)	ダイアジノン水和剤34	1,000倍	45日	4	100g	・強風等での枝葉が傷んだ場合は、ベクト水和剤1,500倍(14日/3回)を散布する。(単用散布) ・害虫多発の場合、発生状況を確認し散布する。
臨時	5月中旬 (新梢停止直前)	アザミウマ類 アザミウマ類 チャノキアザミウマ	コテツフロアブル	4,000倍	14日	2	25ml	350 (250)	コテツフロアブル	4,000倍	14日	2	25ml	・フジコナカイガラムシ多発園ではアゾド水和剤1,000倍(開花期まで2回)を単用散布する。注)開花後は葉害のおそれがあるので、必ず開花前に散布する。
1	開花直前 (5月下旬～ 6月上旬) ※生育に合わせて散布する	ハマキムシ類 アザミウマ類 カイガラムシ類 落葉病 うどんこ病 灰色かび病 炭疽病	ディアナWDG	10,000倍	前日	2	10g	400 (350)	ディアナWDG	10,000倍	前日	2	10g	・アザミウマ類の飛来時期となるので、散布時期が遅れないように注意する。
			オンリーワンフロアブル	2,000倍	前日	3	50ml		オンリーワンフロアブル	2,000倍	前日	3	50ml	・落葉病の感染期に入るので、散布ムラがないようにたっぷり散布する。
2	6月中旬	アザミウマ類 ハマキムシ類 フジコナカイガラムシ類 落葉病 すず点病 炭疽病 うどんこ病	トクチオン乳剤	1,000倍	75日	2	100ml	400 (350)	トクチオン乳剤	1,000倍	75日	2	100ml	【落葉病重点防除期間(6月中旬～7月中旬)】 前年発生場所は特に注意! ●散布ムラが出ないように丁寧に散布し、無ボルドー体系については、防除間隔を14日以上空けない。 ●防除効果を高め、アザミウマ類の発生を低下
			2-10式ボルドー	生石灰 硫酸銅	2-10式	—	—		1,000g 200g	2-10式ボルドー	生石灰 硫酸銅	2-10式	—	
3	6月下旬	カメムシ類 カキハタムシ類 フジコナカイガラムシ類 落葉病 うどんこ病 炭疽病	スミチオン水和剤40	1,000倍	45日	3	100g	400 (350)	スミチオン水和剤40	1,000倍	45日	3	100g	・カイガラムシの発生が多い場合は、モスピラン顆粒水溶剤4,000倍(前日/3回)に薬剤を変更する。 ・スミチオンの高温散布時は葉害が発生する恐れがあるので注意する。
			2-10式ボルドー	生石灰 硫酸銅	2-10式	—	—		1,000g 200g	スコア顆粒水和剤	3,000倍	前日	3	
臨時	6月下旬～ 7月上旬	落葉病 すず点病 炭疽病 うどんこ病	展着剤	下記各展着剤使用基準による				400 (350)	展着剤	下記各展着剤使用基準による				・降雨が多い場合や散布間隔が開く場合に実施する。(無ボルドー体系のみ)
4	7月上旬	カキハタムシ類 カメムシ類 チャノキアザミウマ類 カキガアザミウマ類 落葉病 すず点病 炭疽病	MR. ジョーカー水和剤	2,000倍	14日	2	50g	400 (350)	MR. ジョーカー水和剤	2,000倍	14日	2	50g	・カイガラムシ多発園ではスプライト水和剤1,500倍(30日前/3回)を単用散布する。
			2-10式ボルドー	生石灰 硫酸銅	2-10式	—	—		1,000g 200g	オーソサイド水和剤80	1,000倍	7日	5	
5	7月中旬	カメムシ類 アザミウマ類 落葉病 すず点病 炭疽病 うどんこ病	キラップフロアブル	2,000倍	7日	2	50ml	400 (350)	キラップフロアブル	2,000倍	7日	2	50ml	・この時期以降、高温時の散布は葉害発生の可能性があるため注意する。 ・すず点病感染時期のため、新梢管理を行い通風採光をはかる。
			2-10式ボルドー	生石灰 硫酸銅	2-10式	—	—		1,000g 200g	ビオネクト	1,000倍	14日	5	
6	7月下旬	カメムシ類 チャノキアザミウマ類 落葉病 すず点病 炭疽病 うどんこ病	テルスター水和剤	2,000倍	14日	2	50g	400 (350)	テルスター水和剤	2,000倍	14日	2	50g	・乾燥が続く場合は、生理障害対策のため灌水を実施する。 ・以降ハスモンヨトウが多発する場合は、サムコフロアブル10を5,000倍(前日/3回)で散布する。
			ベルコート水和剤	1,500倍	14日	3	66g		ベルコート水和剤	1,500倍	14日	3	66g	
7	8月中旬	カメムシ類 カキハタムシ類 チャノキアザミウマ類 フジコナカイガラムシ類 落葉病 すず点病 炭疽病	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日	3	50g	400 (350)	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日	3	50g	・前年、うどんこ病が多発した園地は、スコア顆粒水和剤 3,000倍(前日/3回)を散布する(単用散布)。
			オーソサイド水和剤80	1,000倍	7日	5	100g		オーソサイド水和剤80	1,000倍	7日	5	100g	
8	9月上旬	カメムシ類 アザミウマ類 落葉病 炭疽病 すず点病 うどんこ病	キラップフロアブル	2,000倍	7日	2	50ml	400 (350)	キラップフロアブル	2,000倍	7日	2	50ml	・周辺に水稲がある場合は農薬が飛散しないよう十分注意すること! ・9月中旬以降のカメムシ対策として薬剤散布する場合はテルスターフロアブルの6,000倍(3日/2回)とする。
			トップジンM水和剤	1,500倍	前日	6	66g		トップジンM水和剤	1,500倍	前日	6	66g	

※ボルドー体系では、2-10式ボルドーに替えて、ICボルドー412の50倍でも良い。(散布直後の降雨が懸念される場合はICボルドーの使用は避ける。※銅の薬害のおそれあり)

薬剤散布にあたっての注意事項

(注1)
農薬の登録外使用は法律で禁止されています。上記以外の農薬使用についてはJAまたは関係機関にご相談ください。
周囲作物への農薬飛散防止に努めましょう。(柿以外の農産物に農薬がかからないよう注意しましょう。)
農薬使用については、容器等にあるラベルの内容を確認・遵守しましょう!
散布作業はマスク、手袋等安全防除衣を着用するとともに、無風の涼しい日に実施しましょう。
防除は生育や病害虫の発生予察に注意して適期に実施しましょう。
園地環境(防風樹の整備・草刈りの徹底)をよくしましょう。

(注2)
薬剤混用の順序(水和剤混用の場合) 水 → 展着剤 → 殺菌剤 → 殺虫剤
薬剤混用の順序(乳剤混用の場合) 水 → 乳剤
薬剤混用の順序(フロアブル剤、水和剤混用の場合) 水 → フロアブル剤 → 水和剤
※ボルドー液の場合はボルドー液調整後に展着剤→殺虫剤の順に混用しましょう。

(注3)
展着剤使用基準と上記「備考欄」に記載された農薬使用基準

展着剤・農薬	展着剤及び農薬名	倍率	100リットルあたり使用量	収穫前使用時期	総使用回数
展着剤	ブレイクスルー	5,000倍～10,000倍	10ml～20ml	—	—
	ネオエステリン	5,000倍～20,000倍	5ml～20ml	—	—
殺虫剤	アブロード水和剤	1,000倍	100g	開花期まで	2回
	サムコフロアブル	5,000倍	20ml	前日	3回
	スプライト水和剤	1,500倍	66g	30日	3回
	テルスターフロアブル	6,000倍	16ml	3日	2回
	モスピラン顆粒水溶剤	4,000倍	25g	前日	3回
	スコア顆粒水和剤	3,000倍	33g	前日	3回

柿農薬混用の事例

使用回数	使用回数													
	2	2	2	3	3	3	3	4	2	2	2	2	2	3
殺菌剤	殺菌剤													
	アブロード水和剤	キラップフロアブル	コテツフロアブル	サムコフロアブル	スタークル顆粒水溶剤	スプライト水和剤	スミチオン水和剤	ダイアジノン水和剤	ディアナWDG	テルスター水和剤	テルスターフロアブル	トクチオン乳剤	MR. ジョーカー水和剤	モスピラン顆粒水溶剤
—	—	—	—	—	—	×	△	—	—	—	—	—	—	—
5	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	前日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	前日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	前日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

●: 混用して問題なかった。 ○: 使用直前の混用なら問題なかった。 △: 物理性、効果低下などの点で問題がある。
▲: 葉害の点で問題がある ×: 混用できない 空欄: 混用するに足りる知見や経験が乏しい。